

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

ぐるうぷほうむ54番地

(ユニット名)

1階

記入者(管理者)

氏名

竹田 友和

評価完了日

平成 19 年 6 月 23 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月30日

【評価実施概要】

事業所番号	3890100096		
法人名	有限会社 スローライフ		
事業所名	ぐるうぶほうむ54番地		
所在地	松山市水泥町54番地	(電話) 089-976-5771	
管理者	竹田 友和		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年7月6日	評価確定日	平成19年7月30日

【情報提供票より】

平成19年6月21日事業所記入

(1) 組織概要			
開設年月日	平成18年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤	9人, 非常勤 9人, 常勤換算 14.0人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	40,000 ~ 43,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3) 利用者の概要 (平成19年6月21日現在)			
利用者人数	16 名	男性 5 名	女性 11 名
要介護1	2 名	要介護2	6 名
要介護3	3 名	要介護4	3 名
要介護5	2 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85.3 歳	最低 69 歳	最高 96 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員は、利用者の発言や態度等から思いや意向を探っておられる。又、アセスメントシートを改良して、ご本人の思いを書き込み、情報を職員で共有しておられた。畑の新鮮な野菜を使用して調理することやいろいろな食材を使って調理することに努めておられる。調味料に酢を頻繁に使用するようにされている。水分摂取は一日に摂る量の目安を定め、好みの飲み物等も交えながら摂取できるようにされている。介護記録のカバーを布で手作りされ、共用空間で記録を書かれる時の違和感に配慮されている。利用者の状態を踏まえて声かけ等にも気配りをされている様子が調査訪問時、うかがえた。

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・前回の評価結果を受けて、共用空間に畳のスペースを採り入れられたり、アセスメントシートの改良からさらに利用者個々の思いの把握に努められた。</p>
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・職員個々が自己評価に取り組み、ユニット主任と管理者がまとめられた。</p>
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>・町内会長の方や地域のふれあいサロンの方達、市の担当者が出席し、会議が進められている。地域サロンへのお誘いや避難訓練に関すること等が話し合われている。会議の内容については、後日ご家族等に報告をされている。</p>
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>・毎月、日頃の様子を書いたお手紙と写真を添えてご家族に送付されている。電話や来訪時に、意見や要望について聞き取りをされている。</p>
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・近くの幼稚園へお花見に出かけ、園児と一緒に昼食をされる等、交流をされていた。事業所の前にある公民館のサロン等にも参加をされている。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			理念を職員、利用者の方と共有できるように事務所や廊下など誰でも見えるところに貼っている。		利用者本位の生活を支援して行く為にスタッフで話し合い、大切にすること、目指す事をユニット理念とできる様取り組みたい。
			(外部評価)		
			利用者のこれまでの人生を大切に一人ひとりを支えていくための理念が作られている。理念に基づき、地域とのつながりも大切にしていきたいと考えておられた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			理念を職員が常に目に入るように、事務所や廊下に掲示してあり、また職員間で毎日の申し送りや月1回のミーティング、カンファレンスで利用者一人ひとりへの支援が理念に沿っているものか確認できるよう話し合っている。		スタッフ全員が理念の意味を常日頃から頭に置き、日常生活の中で必要な目標を作り、実践できるように取り組みたい。
			(外部評価)		
			代表者、管理者は、職員からの質問等の返答時にも理念に基づいてお話をされている。管理者は、職員が自ら気づき、行動ができるような助言等に心がけておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族の方とは毎月対話する事を心がけ、面会時に職員から近況報告を行うと共に、支援の方針について話し合うようにしている。地域の方には運営推進会議の場で、ケアの内容について理念に照らして話し合っている。。		地域への取り組みに関しては、まだ不十分なところもあるのでホーム便りなどを作成し当事業所の理念や役割などを記載したものを配布し、認知症ケアの推進が図れるよう取り組みたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩のとき、近隣の人達と挨拶を交わしたり野菜を頂いたりしている。また、対応に困っている時など近隣の方が話しかけて頂いたりしている。		近隣の方が事業所に気軽に立ち寄られる事は少ない為、事業所内の行事などの案内状をお配りして、地域の方にきていただけるように取組みたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 月に2回ホームの前の公民館でふれあい事業を行っているので時々参加している。さらに近くの幼稚園で花見をしたり、夏の盆踊りや秋の地方祭にはホームの前の神社で行なわれているので積極的に参加している。		地域の一員としての地域との付き合いはまだまだ不十分であるので市民清掃などの地域活動に職員や利用者も積極的に参加する取組みを話し合っている。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議で地域の方に近隣の介護の相談場所としての役割を担えるよう声を掛けている。運営推進会議が始まってから、近隣の方から相談に来る事が少しずつ増えてきている。		さらに、今後、事業所主催の夏祭りの開催が予定されている。小野地区のふれあいサロンへの参加等、利用者が楽しみとなるような取組みから地域の方達とさらに交流を深めていかれることを考えておられた。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価を職員全員で実施しサービスの質の向上に努めている。また、毎月のミーティングで項目に添って職員間で話し合いを行い、随時見直しを行なっている。その内容について運営推進会議でも話し合い、意見を頂き、反映するようにしている。		(外部評価) 職員個々が自己評価に取り組み、ユニット主任と管理者がまとめられた。前回の評価結果を受けて、共用空間に畳のスペースを採り入れられたり、アセスメントシートの改良からさらに利用者個々の思いの把握に努められた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価) 会議では事業所が取り組んでいる事を参加者に報告す ると共に、自己評価の内容について話し合い、質問、 意見、要望などを聞き入れながら会を行っている。		
			(外部評価) 町内会長の方や地域のふれあいサロンの方達、市の担 当者が出席し、会議が進められている。地域サロンへ のお誘いや避難訓練に関する事等が話し合われてい る。会議の内容については、後日ご家族等に報告をさ れている。		さらに、運営推進会議をいろいろな方達の意見を聴く 機会として、さらに事業所の質の向上につなげていか れることが期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価) 松山市の介護保険課の職員の方と連絡を取り合う機会 を持ち、サービスの質の向上に向け、その時々起こ る事柄について検討する機会を持っている。		
			(外部評価) 代表者は、介護認定審査委員や研修の講師としても、 地域の認知症ケアの向上のために市と協働されてい る。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価) 管理者やユニット主任は地域福祉権利擁護事業や成年 後見制度について外部研修などの学ぶ機会を持って いる。		職員全体で権利擁護について十分な支援が出来るよう に、勉強会を積極的に行いたい。
			(自己評価) 虐待に関して職員が十分に注意を払いながら日常生活 を過ごしており、毎月のカンファレンスの中で対応方 法について振り返る機会を持っている。		職員全体で勉強会などにより高齢者の虐待防止法に関 して学び、虐待に関する知識の向上を目指して取り組 みたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待に関して職員が十分に注意を払いながら日常生活 を過ごしており、毎月のカンファレンスの中で対応方 法について振り返る機会を持っている。		職員全体で勉強会などにより高齢者の虐待防止法に関 して学び、虐待に関する知識の向上を目指して取り組 みたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 管理者が入居前の見学や自宅への訪問、契約時などに何度も話し合いを持つようにしており、利用者、家族の不安などを少なく出来るように取り組んでいる。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 職員がケアプランを作成する際、アセスメントシートにて本人の要望など把握するように努めている。また利用者の不満などに対するケアについては月1回のカンファレンス時に職員全員で早期解決できる様に努めている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族面会時に職員から健康状態など報告、相談などしている。また毎月ケア担当者から、家族の方に写真を添えた手紙をお送りしている。		普段の何気ない会話から感じたことや普段の状態や経過を正確に家族の方に知っていただく為に今後も家族との交流を深め、ホーム便りなどを職員全体で作成できるように取り組みたい。
			(外部評価) 来訪時に、職員がご本人の暮らしぶりを伝えておられる。毎月、日頃の様子を書いたお手紙と写真を添えてご家族に送付されている。		さらに、ご家族が知り得たいような情報について、探ってみられてはどうだろうか。職員のこと金銭管理のこと、環境面のこと等、ご家族とのさらなる信頼関係作りに向けた取り組みが期待される。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 面会時等は職員から必ず声をかけ利用者のかたの状態などについて話し合っている。また心身の状況や日頃の暮らしぶりを伝え、意見や希望などを聞くようにしている。		匿名でのアンケートを全家族へお送りし、日常では伝えきれていない意見や不満、苦情について伝える事が出来る機会をつくり、それらを運営に反映できるように職員間で話し合う取り組みを検討したい。
			(外部評価) 以前は、ご家族のご自宅を訪問し、ご家族に報告を行ない、意見や要望を聴いておられたが、現在は、ご家族の来訪時や電話での意見の聴き取りとされている。		今後、家族会等、家族同士が集まるような機会作りをすすめていかれることを検討されている。ご家族が意見を出しやすいような機会作りに向けた取り組みが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営者や管理者は日常から職員の意見や提案などを聞くようにし、大きな問題が無い事柄にはすぐ取り組めるようにしている。また毎月主任会議を開き、お互いの意見や提案を話し合えるようにしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の状態等に合わせて、職員の配置を行っており、勤務時間についても利用者の生活状態に合わせて調整し、対応を行っている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動に関しては十分に配慮をし、利用者が混乱しないように取り組んでいる。また離職が少なくなるよう職員の悩みや不安について改善できるよう話し合っている。		
			(外部評価) 職員が変わった場合は、管理者が新人職員のことを利用者に紹介されている。現在、職員同士のチームワークが良好で、何でも話し合える関係ができています。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 新人職員は、1ヶ月間ユニット主任と研修交換記録により学ぶ機会を設けている。外部への研修に関しても主任会で検討し、ユニット主任から職員の経験や力量に応じて必要な研修が受けられるように声を掛けるようにしている。また研修へ参加していないスタッフに対しても研修後、報告書を作成し全員で研修内容を周知できるように努めている		
			(外部評価) 代表者は、認知症ケアの研修講師をされており、日常的にアドバイスをもらえるようになっている。管理者は、職員の段階に合わせて助言をされ、ユニット主任を中心に実践につなげていく仕組みができています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	<p>同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	(自己評価)		
			<p>他の事業所の研修を積極的に受け入れ実習を通しての気付きや具体的な実践が生まれる様に、話し合いや支援のあり方など検討している。また相互評価事業への参加も積極的に行っている。</p>		
			(外部評価)		
			<p>相互評価への取り組みや他事業所の研修受け入れ等を積極的に行い、他事業所との交流を通じて、気付き等を得て実践につなげておられる。</p>		
21		<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>職員間でコミュニケーションをとって、なるべく楽しい雰囲気の仕事が出来るように努めている。</p>		<p>息抜き場、(定期的な集まり)を設けてみてはと検討中。また個別で悩みなどを聞く場を設けたい。</p>
22		<p>向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>運営者も頻繁に現場に足を運び、利用者と過ごす時間を作っている。職員の資格取得への協力や研修へも積極的に参加するよう呼びかけている。また年に2回、職員は健康診断を受けている。</p>		
<p>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>					
<p>1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		<p>初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	(自己評価)		
			<p>管理者は入居前の面談で本人との対話を大切に、生活状況などを把握できる様に努めている。また本人や家族からの要望など聞き入れ、できるだけケアに反映できる様に努めている。</p>		<p>入居前にあらかじめケースの担当職員を配置し、利用者との話し合いを持つことにより不安感を取り除き、馴染みの関係の構築にもつなげられるよう取り組みたい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 管理者は家族と見学時や面談時、契約時に話し合う機会を多く持つようにし、不安な点や不明な事が出来るだけ解消されるよう取り組んでいる。		入居前にあらかじめケースの担当職員を配置し、管理者とともに入居前の話し合いに同席する事で、職員と家族との馴染みの関係の構築につなげられるよう取り組みたい。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 事業所に相談に来られた際には、管理者が対応し状況の把握に努めるとともに、サービスの種類や内容について説明するようにしている。また、他のサービスを望まれる際には必要な機関との連携が図れるようにしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人や家族の方に事業所内を見学に来ていただいたり、管理者から家族の方や本人にお会いする事で、安心感を持って頂ける様に配慮している。		今後デイサービスやショートステイなどのサービスを合わせ、少しずつ馴染みながらのサービスの利用が出来るようになるよう検討中である。
			(外部評価) 入居間もない方が「帰りたい」と言われることに対して、職員は、思いを受け入れ対応しておられた。利用者同士の関係性等をみながら、事業所に馴染んでいけるよう支援しておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者の方にはそれぞれ日常の中で出来る役割を担っていただき、職員が共に行う事で一緒に過ごしながら、昔からの知恵を教えていただく機会を持っている。		
			(外部評価) 利用者が職員に劣いの言葉をかけておられる様子がうかがえた。又、職員は、利用者から「待つ」ことの大切さを教えもらったと話されていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者の状態の変化に合わせて、職員は家族の方とコミュニケーションをとり、利用者の要望や不満などについて家族と相談し、協力も得ながら利用者の望む生活に近づけるよう取り組んでいる。		利用者と家族双方の想いが結び付けられるよう職員で話し合いや対応を行うと共に、家族会などを儲け不安や悩みなど家族同士の交流が図れるようにさまざまな機会を提供したい
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 利用者と家族の関係について入居される前の話し合いの中で聞く機会を設け、日常の関わりの中で本人と家族の関係を築くために、管理者と職員は話し合うようにしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 職員は利用者個々の大切にしているものをアセスメントにて把握し、大切にしている方との関係が途切れないように電話など、自由に使えるように支援している。また本人の自宅に帰ったり、お墓参りなど大切にしていることが継続できる様に努めている。		想いを表現されにくい利用者の方への支援について、職員間や家族とで話し合う取り組みを行っていききたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 事業所内には仲の良い利用者同士で過せる場所を大切にし、小テーブルや椅子を各所に配置し、リビングには置みのスペースを設置している。職員は利用者同士の関係について把握し、仲の良い人同士での交流を支援できるようにし、利用者同士で入浴される場面などもみられる。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退去される前には管理者と家族で、退居後の生活について話し合う機会をもっており、必要な場合には支援が行えるようにしている。退居後のサービス事業所とも連携し、情報の交換や協力が行えるようにしている。退去後の様子については職員と情報を共有する様にしてしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1.一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価) 職員は利用者の想いの把握を目的としたアセスメントを、日々の関わりの中から聴きとりできるように取り組んでいる。意思の疎通が困難な方には家族などから情報を聞くようにし、どのように支援を行うか話し合うようにしている。</p> <p>(外部評価) 職員は、利用者の発言や態度等から思いや意向を探っておられる。又、アセスメントシートを改良して、ご本人の思いを書き込み、情報を職員で共有しておられた。</p>		
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価) 利用開始前に管理者は家族から生活暦や、様子について聴き取りをするようにしており、入居されてからも職員からご本人や家族と話し合う機会を持ち、アセスメントシートに記入し、職員間で共有できる様に取り組んでいる。</p>		<p>全ての利用者のこれまでの暮らしや想いをを把握しているとは言い切れないため、家族や本人との会話を継続し、職員全体で取組みたい。</p>
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価) 職員は利用者の出来る力を大切にし、その把握に努め、毎月のカンファレンスの中で一日の生活の中の利用者個々の役割や過ごし方について話し合うようにしている。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) ケア担当職員はアセスメントシートにて本人の想いを聴き取るようにし、それを元に毎月のカンファレンスにて職員全体で介護計画について話し合うようにしている。介護計画は本人のしたいことが達成できる計画になるように取り組んでいる。</p> <p>(外部評価) ご本人の思いや希望を大切にし、ご本人の困っていることを主体にして、介護計画を作成しておられる。</p>		<p>ご家族からの要望やご本人に関係する人達からのアイデアを、さらに採り入れた計画を作成するような取り組みについても期待される。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 介護計画の期間は1ヶ月とし、担当職員が毎月作成し、毎月のカンファレンスで職員全体で話し合うようにしている。さらに本人の要望を受け入れ、状況が変化した場合は検討見直しを行ない、毎日の申し送りで話し合うようにしている。		
			(外部評価) 1ヵ月ごとに介護計画を見直しておられる。個別介護記録にご本人の日々の変化について記述する欄を設け、計画作成時の参考とされていた。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 職員は介護記録の記入にあたり、出来事、対応、変化の項目に分け、会話の内容を中心に詳しく記入し、毎日の申し送りで職員間の情報の共有が行えるように取り組んでいる。さらに介護計画の見直しの時には、記録を振り返り、より具体的な介護計画が作成できるよう取り組んでいる。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 職員は本人や家族の状況に応じて、柔軟な対応ができるように心がけおり、本人の希望や、家族の方の急なご用事などでの通院や送迎などの支援も行っている。		利用者の生活を支えられるよう、さらに柔軟性をもった支援が行なえるように職員間で話し合い、取り組んでいきたい。家族アンケートを活用し、求められるサービスを把握し、実現できるよう検討中である。
			(外部評価) ご本人の希望・要望には柔軟に対応をされている。お墓の掃除に毎月行かれる方への支援や温泉に行きたい方への同行も予定されていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 事業所の前の公民館で行われるふれあいサロンへの参加を本人の意向を聞きながら参加出来るようにしていると共に、運営推進会議にサロンのボランティアの方や民生委員の方に参加して頂き、地域資源を活用できる取り組みについて話し合いを行なっている。		地域の方々と職員が日常的に交流がもてるよう、ふれあいサロンへ利用者の方と職員が訪れる機会をもっと増やす取り組みを検討中である。また、サロン以外の地域資源の活用ができるように、地域の方々と話し合う機会をもっとつくれるよう取り組みたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の希望や体調に合わせて送迎美容室の活用などを行っている。		職員全体で話し合い、利用者の選択性が増えるように、利用できるサービスの内容や種類を増やしていけるよう取り組みたい。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に地域包括支援センターの職員の方に参加していただき、交流が持てるようになっている。また職員は地域包括支援センターが開催する地域ケア会議へ参加させていただき、意見交換できる機会をもっている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 2週間に1度協力病院の主治医が事業所に往診という形で来ていただいている。また昔からの馴染みのかかりつけ医がおられる方に関しては本人や家族の希望を聞き、受診できるよう支援を行っている。		
			(外部評価) ご本人やご家族の希望されるかかりつけ医で診てもらうよう支援されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力医療機関の医師は脳神経外科医師であり、利用者個々に合わせての相談に応じていただき、指示や助言を頂いている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 利用者の状態を良く知る看護職員を雇用し、日常の健康管理などいつでも相談できる様にしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には管理者やユニット主任が医療機関と連携し、なるべく早期退院できるように情報交換を行っている。職員もお見舞いなどに行き、家族の方と情報交換できる様に努めている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 職員は利用者の状態の変化に伴ないその都度本人、家族の方と話し合いを持ち、いかなる場面に遭遇しても対応できるように職員間や関係者と検討を重ねるように取り組んでいる。 (外部評価) ご本人の気持ちを聴き取り、アセスメントシートに記入するようになってきている。ご家族の要望等も含めて職員間で共有するようになってきている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 入居時に管理者からターミナルに対する家族の要望を聞き、出来る事、できない事を家族の方等と話し合っている。またかかりつけ医と密に連絡を取り急変時等はすぐに対応して頂ける様に対応している。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 管理者、ユニット主任は利用者の暮らしの継続が保たれる事を大切に、事業所での生活の様子や支援の注意点など、移行先への伝達をプライバシーに配慮しつつ行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) 職員は利用者への声掛けや介助についてプライバシーを守れるよう注意し、記録物についても他者の目に入りにくいように配慮をしているが、日常の中で言葉遣いや支援の方法に不十分な部分があるように感じる。</p> <p>(外部評価)</p>		<p>職員間で日頃の言葉遣いや援助方法について振り返る機会を毎月のミーティングにて取り組みたい。</p> <p>事業所自身が、声かけについて気になる点があると感じておられる。さらに利用者への関わり方について話し合わせ、さらなるケアの質の向上につなげていかれることが期待される。</p>
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 職員は声掛けは選択性ををもたせた言葉掛けを意識し、無理をさせることが無いように取り組んでいる。また買い物場面などでも利用者自身で選んでいただく事を大切にしている。</p>		<p>利用者の中には想いを自己表出しにくい方もおられるので、職員間や家族との話し合いの中で、自己表出しいただける方法をみつけることが出来るよう取り組みたい。</p>
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 毎日の生活の流れは利用者一人ひとりのペースや想いを大切に、その時々でかわる自分のしたい事、買い物や外出をいつでもできるように職員は支援を行っている。</p> <p>(外部評価) 喫煙や一日の過ごし方等、利用者の習慣も考慮し、ご本人のペースで生活できるよう支援しておられた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 職員は起床時着る物などに関して本人の意向で決めており、それが困難な方には職員が考えて着替えなどをして頂いている。また整容なども朝していただくが困難な方には介助という形で行っている。		オシャレが日常生活の中の楽しみの一つになる様に髪型 服装のおしゃれができるように検討している。また、女性は化粧なども行なえるような支援に取り組みたい。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 職員は利用者と一緒に買い物に行ったり、食べたいものを聞くようにして、食事への関心を持っていただけるよう支援を行っている。また事業所の畑で利用者と一緒に野菜を収穫し、食事とともに摂りながら収穫の話をすることで食事が楽しめるよう支援を行っている。 (外部評価) 利用者とともに畑の野菜を採りに行き、調理方法を相談して料理を作っておられた。宅配の牛乳を取っている利用者もおられる。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 職員は利用者それぞれのタバコやおやつなどを個人の好みの物を出来るだけ取り入れ日常的な楽しみにつなげている。また、飲み物などは自分で飲みたいときに飲めるよう、冷蔵庫に名前を書いて保管している。		利用者の中にはお酒などを好まれている方がいるが持病など重なり現在は楽しみとして取り入れられていない。医師や家族と相談し楽しみにつなげられるように支援したい。
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表を作成し尿意のない方などに関しては時間を決めて定期的にトイレ誘導をしている。		利用者で現在オムツやパットなど使用されている方がいるがオムツやパットを取り除く方法を職員全体で毎月の勉強会やミーティングなどを通して検討していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 職員は入浴に関して、利用者の希望を聞きながら、曜日や時間などにとらわれず入浴をしていただいている。また入浴を嫌がられたり、長い間入浴されていない利用者の方には無理には入浴して頂いてはならないがなるべく清潔を保持できる様に工夫して声掛けを行っている。		職員一人ひとりが利用者の方の体調の変化を把握し状況に応じては臨機応変に清拭や足浴に切り替えられるように取組みたい。
			(外部評価) 入浴を嫌がられる方には、無理強いせず、ご本人が入浴したくなるような雰囲気作りに努めておられる。又、温泉に行きたいと希望される方もおられ、実現できるよう計画をすすめたいと考えておられた。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 職員は利用者一人ひとりの生活のリズムを把握し、日中散歩や外出で活動的に生活して頂けるよう取り組んでいる。高齢や体力低下がみられるかたについては本人のリズムに合わせて休息時間を設けている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 職員は利用者それぞれの得意な事やしたい事を把握し、その方の得意な分野で力を発揮して頂ける様、掃除や洗濯、畑の手入れなど役割分担を毎月のカンファレンス時に話し合っている。		利用者全ての方が役割を持っているわけではない為個々の楽しみを取り入れながら毎日生きがいを持っていただけるように支援していきたい。また、職員で気づけていないその人の役割を見つけ、それを伝えることで御本人の自信につなげていきたい。
			(外部評価) 調査訪問時、七夕飾りを作っておられた。利用者は、願い事を書いた短冊や飾りを眺め、「家に居たらできんことをさせてもらってうれしい」と話しておられた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 職員は家族からお金を預かり事業所で管理しているが買い物などに行った際には自ら金銭の支払いをして頂ける様に工夫している。		利用者の方全員がお金を所持しお金を持つことで楽しみも持っていただけるように改善したい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			職員は日常的に散歩に出かけることができる様に声掛けを行っている。歩行が困難な方に関して車椅子などを利用し積極的に外へ出る事を支援している。また月に1回利用者の方全員で出かけるよう行事を立てている。また利用者自らで掛けようとする時には職員が付き添い、いつでも出かけることができるよう支援している。		
			(外部評価)		
			ユニットの皆でくるくる寿司を食べに行かれた。又、日常的な散歩や買い物にも出かけておられる。		外出をされる方の偏りがあると事業所自身で感じておられる。今後、地域のサロンへの参加も含めて介護計画へ盛り込み、取り組みをすすめて行きたいと考えておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			職員は利用者との会話の中から「してみたい」、「いきたい」という気持ちを汲み取るようにし、お墓参りなどの個別の外出や毎月の利用者全員での外出ができるよう、職員同士で話し合い支援につなげている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			職員は利用者の電話をしたいと言う希望に、いつでも電話が出来るように配慮している。		利用者の方全員ではなくある一定の利用者の方しかできていないので利用者のかた全員が電話や手紙のやり取りが出来るように取り組みたい。また毎月ご家族にお手紙を送っているのその際に利用者の方にも手紙を書いていただき返信用の封筒を添えて手紙を出すなどの取り組みも検討している。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			事業所は家族の方の都合に合わせ訪問時間などは定めずいつでも訪ねて来て頂けるように配慮している。また職員は面会時に玄関まで出迎え、居心地よく過ごしていただけるように雰囲気作りを心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員は身体拘束をしないケアについては十分に注意しながらケアをしているが、言葉の拘束への配慮がまだ不十分である。		職員が身体拘束、また言葉の拘束によって利用者の方が受ける身体的・精神的弊害についての理解が深められるように、勉強会を通して知識の向上に努めたい。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 利用者のかたが外出する際には無理に止めることなく、職員間で連携を計りながら外出できる様に支援している。		職員は利用者が出て行かれる気配を見落とさないように見守りや連携が出来ているが、今後近隣の住民の方の理解を深め、万が一の事態に備え声掛けや連絡していただけるような関係の構築ができるよう取り組みたい。
			(外部評価) 居間からも外に出られるようになっており、ベランダで喫煙をされている方もおられた。玄関は施錠しておらず、自由に出入りできるようにされている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員は日中は必ずフロアに一人いるようにし利用者の方の様子があつても分かるように配慮している。また居室におられる方については定期的に部屋を訪室する様にしている。夜間なども定期的に居室を訪室するようにしている。また監視しているような雰囲気を作り出さないように注意を払っている。		利用者の状態の変化に伴ない、未然に事故を防ぐことができるよう、色々な場合の危険予測について職員間で話し合い、安全面での配慮が常に検討続けられるよう取り組みたい。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要な物に関しては毎月のミーティングにて職員間で話し合いを持ち、全て取り除くわけではなく、ケースに応じた対応ができるよう取り組んでいる。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 職員は利用者の方の安全を第一に考えており、危険を感じたことがあった場合、毎日の申し送りで話し合うようにしている。転倒、行方不明などの事故が起こった場合には、緊急にミーティングを開き、事故の原因を考え、今後事故をどの様に未然に防ぐかについて話し合っている。		リスクマネジメントへの取り組みを日頃から出来るよう、ヒヤリハットの作成や事故防止のための検討会を職員間で行っていききたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 事業所は緊急時のマニュアルを作成し職員全体で周知できる様に努めている。		職員がいざという時に冷静に対応できるように書式だけではなく講習会に出席したり、定期的の実技を含めた勉強会を実施するなど、繰り返し練習を重ねるように取り組みたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 災害時のマニュアルを作成し職員全員災害時に対応できるように努めている。また年に2回防火訓練を実施している。 (外部評価) 年2回の避難訓練を行っておられる。運営推進会議時に事業所から「グループホームの防火について」の説明をされている。		消防署の協力を得て防火訓練を実施しているが実際の場面では冷静な判断が難しくなることが予想されるので事業所でも定期的に避難訓練を実施し、日頃からの防災意識を職員間で高めていけるよう取り組みたい。 さらに、災害時に慌てず職員が行動できるような取り組みや職員の不安ごとについても話し合い、対策をすすめていかれることが期待される
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 職員は利用者の状態の変化や、日常生活の中で気付いた危険について、家族と密に連絡を取り、現状の理解と未然に防ぐことが出来る取り組みについて話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 職員は朝夕の申し送りの中で利用者の体調の変化を職員全体で共有できる様に取り組んでいる。また判断しかねる状態については管理者に報告し、看護師や協力医療機関と相談し対応するようにしている。		利用者のあらゆる急変時などにも対応が出来るように日頃から職員全体で勉強会を行い、状況判断や対応が出来るように取り組みたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 職員は利用者一人ひとりの薬表をファイルし、職員全員が利用者の薬の効能や副作用などについて把握できるように取り組んでいる。		利用者が飲まれている薬に対する認識をもっと深めるために、定期的に薬の効能や副作用について職員全体で勉強会を行えるように取り組みたい。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 職員は便秘傾向の利用者に、繊維のある物を多く摂取していただいたり乳製品などを取り入れるよう支援している。それでも改善されない場合には主治医に相談して対応している。		利用者の便秘傾向の原因として運動不足も一つの要因と考えられるので、日常生活の活動の中で運動を取り入れられるよう話し合っている。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 職員は毎食後の口腔ケアについてはその都度声掛けをし、能力に応じて介助を行なっている。また必要な方にはスポンジブラシを使って介助を行なっている。		肺炎や、食欲低下など感染症の誘因となる危険性があるので口腔ケアの必要性を職員全員理解できるように勉強会などを重ねていきたい。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 職員は毎食の食事摂取量を記録するようにし、必要な方には詳しい摂取状況や水分量を記録するようにしている。また、毎月体重測定を行い栄養状況について話し合っている。必要な方には水分にトロミをつけるようにしている。 (外部評価) 畑の新鮮な野菜を使用して調理することやいろいろな食材を使って調理することに努めておられる。調味料を頻繁に使用するようにされている。水分摂取は一日に摂る量の目安を定め、好みの飲み物等も交えながら摂取できるようにされている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 事業所は感染症の予防のマニュアルを作成しており、状況に合わせ、職員全体で勉強会を行っている。また家族の同意を得て、利用者、職員共にインフルエンザの予防接種を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員は毎晩まな板、布巾、包丁を漂白剤につけたり冷蔵庫の整理など定期的に行っている。食器や調理器具は毎回食器洗浄機で洗浄し、過熱殺菌できるようにしている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関周りにはプランターや花壇などがあり、四季折々の草花が咲いている。玄関にも花を活け、荷物を置いたり、休む事ができるように椅子を置いており、家庭的な雰囲気作りを心がけている。敷地の入り口にはベンチと自動販売機を置き、近隣のかたが立ち寄りやすい環境をつくっている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>廊下には四国八十八ヶ所の絵を飾っており、落ち着いた雰囲気をつくっている。廊下に並べられた昔懐かしい物や観葉植物で部屋間違いを防ぐ為の手がかりとしている。共有空間には季節の花を飾り季節感を取り入れている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>共用空間の各所に椅子を配置し、お好きな場所で過ごせるように配慮されている。又、利用者の状態や行動等をみながら必要時に必要なものを増やしておられる。飾っておられる懐かしい道具等は、時に話題となり、利用者から使い方を教えてもらうこともある。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>畳のスペースを作り、仲の良い人と一緒にくつろげる空間を設けている。また廊下の端に池が眺められる椅子とテーブルを設け一人や仲のよい人同士で過ごせるスペースを設けている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			利用者の居室はベットやタンスなど使い慣れたものや馴染みの物を持ち込んだり、亡くなられた家族の方の写真などを持ち込まれている方もいる。		利用者の中には居室に何も無い方もおられるので家族、本人と相談しながら、昔からの馴染みのものを置くようにし、居心地よく過ごせる居室作りに職員全体で取り組みたい。
			(外部評価)		
			テレビやタンス、衣桁やベッド、寝具等それぞれがお好きなものを持ち込まれている。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			利用者の中には体温調節がなかなか出来ない方もおられるので、職員がこまめに室温の調節を行なっている。室温は外気温との差があまりないように配慮し、体調の管理や季節の認識への配慮をしている。		利用者の中にはタバコを吸われる方がおられ、事務所にて喫煙するスペースを取っているため、タバコを吸われない方への配慮を考え、職員間で検討していきたい。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			歩行など困難な人のために手すりなどを設けたりしている。リビングには畳みのスペースを設け、足を伸ばしてくつろげるようにしている。リビング内もテーブルの配置などを考え、支え歩行で自立して席に着けるよう工夫している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			利用者一人ひとりにとって何が分かりにくいかを職員が把握に努め、混乱や失敗などがあればその都度申し送りやミーティングなどで話し合い、早期解決に努めている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			庭にはベンチなどを設け天気の良い日にはそこでおやつを食べたりして過ごしている。裏庭には畑のスペースを設け利用者の方と一緒に色々な野菜を栽培し、育てたり収穫する楽しみを共有している。テラス部分にも椅子を設置し、仲のよい人同士で過ごせるスペースとして活用している。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	職員全てが利用者の願いや思いなど全ての意向を掴んでいるとは言いきれない。また利用者の心の奥に潜んでいる思い等を日々のケアの中から把握し、それが実現できるように取り組み続けていきたい。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	毎日職員とお年寄りがゆっくりと会話したり、一緒に過ごす時間はある。それらの時間を活用し、想いの把握や信頼関係の構築に取り組みるようにさらに発展させていきたい。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員は利用者の暮らしのペースを大切に、選択性を持った声掛けを行うことでそれぞれのペースで過ごせるように配慮している。今後意思表示の難しい方や遠慮されている方などの本当の想いを汲み取れるように取り組みたい。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者それぞれの得意な分野を発揮していただき、畑作業や家事などの中で役割を担っていただいている。感謝の言葉を伝えたときの笑顔を大切に支援を行っている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分の意思を訴えられる利用者の方は自宅であったり、お墓参りであったり出かけることができる。訴えの少ない方や、意思表示の難しい方への支援について今後取り組みたい。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員は利用者が定期的な往診や、馴染みの主治医への受診を続ける事で安心して日々の生活が送れる様に努めている。また利用者の状態の変化にいち早く気づき、柔軟な対応ができるように努めている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員は利用者個々の要望などを聞き取り、出来るだけ安心して落ち着いた生活を送っていただくようにしているが、全ての利用者が満足できているまでは来ていないと思う。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	職員は家族の面会時に利用者の近況の報告を行うとともに、家族からの不満や要望などに耳を傾け信頼関係の構築に積極的に努めている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ④ ほとんどない	地域の方や馴染みの方など時々訪ねてこられるが、頻度としては少なく、これからさらに働きかけていく必要がある。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが広がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えている (自己 評価) ② 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議で少しずつ理解は得られてきていると思うが、これから更に理解を深 め、関わりが増えるよう働きかけていくように取り組みたい。
98	職員は、生き生きと働いている (自己 評価) ② 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全ての職員がとはいえないが職員自身がやりがいや目的を持ち生き生きと働けてい る。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者はサービスにおおむね満足はして頂いていると思うが、これからさらに利用者 の満足するサービスを提供できるよう、利用者の想いの把握と実現に取り組みたいと 思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	利用者の家族からは面会時に「よくしていただいている」という声を掛けていただく 方もおられるが、全ての家族が満足するまでは達成できていないと思う。また、現 状に満足することなくさらにサービスの質の向上に取り組む事で全ての家族の方に満 足していただけるように取り組んでいきたい。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者個々の自由を尊重し、自由に出かけたり、自由に過ごせる時間を大切にしている。
 建物の周りには利用者と共に手作りされた庭や畑があり、毎日の中で一緒に手入れをして過ごしている。
 生活の流れは利用者中心に考え、「待つ」ことにケアの重点を置き、自分で生活をしていると思える、自分で出来る事が増える環境づくりに取り組んでい
 る。
 職員は利用者と喜怒哀楽を共にし、安心して落ち着ける環境をつくることで、利用者が「ここに居たい」と思えるホームを目指して取り組んでいる。
 関わりでは、職員は利用者に対して認知症という認識はもたず、一人の人としての関わりを大切にしている。
 一人ひとり違う「あたりまえの生活」を送っていただくことを目標に、その時々を利用者の想いを尊重している。また個別の想いが満たされるよう、個々
 の行きたい場所やしたいことをケアプランとして、チームとして取り組んでいる。